

# かほの おおいた 版

## 大分MSW広報誌

Vol. 35

<発行元>

大分県医療ソーシャルワーカー協会

平成24年1月6日 発行

# 迎春



大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 野上 美智子

「辛いことがあっても春は来る」一番辛いときは気づかなくて、少し落ち着いた今年に驚きをもってそう思いました。時間は、幸せいっぱいするときでも、げらげら笑って楽しいときも、苦しく辛いときも、死にたくなるほどのときも、一様に淡々と流れていくものだと実感しました。

そうすると、クライアントの一番辛いときと一緒に何とか乗り越えたら、クライアントも春を感じるのでしょうか。

新しい年です。せめてちいさな春をクライアントがみつけられるよう今年もMSW頑張りましょう。

### 副会長 甲斐 亮太

あけましておめでとうございます。

平成24年度の診療報酬改定を目前に控え、改定に関する情報が次々と発信され賑やかになって参りました。私達医療ソーシャルワーカーが日々取組んできた実践の一端が、次々と“世の中で必要”と認識される事を大変嬉しく感じております。と同時に、あたりまえの様に取組んできた「連携」と「チーム医療」が社会から評価される今この時こそ、実践の質と内容が更に問われるのではないかと考えます。

先輩諸氏から脈々と、医療と福祉を繋ぐ役割を担ってきた私達が「患者主体でチーム医療が行われる必要性」をしっかりと発信し、より良き医療福祉連携の実現に取組める様、其々の職場で頑張ってみましょう！

### 副会長 佐藤 博文

新年を迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。

わが国は、昨年、東日本大震災という国難に見舞われました。また国内外には多くの課題を抱えている状況も続いています。

そのような中、今年は診療報酬・介護報酬同時改定の年となっており、この改定により、クライアントの方々があくまで安心して地域で過ごせるようになることを大いに期待するところです。しかし現実には課題山積のようです。我々MSWは、たとえどのような制度となっても、制度に惑わされず、クライアントを守り続けなければならない立場にあります。また、このような時代故に、その存在意義が問われるのではないかと考えます。

会員の皆さん、今年も協会活動への参加をお待ちするとともに課題意識をもって行動し、充実した一年にしてみよう。

## 第48回九州医療ソーシャルワーカー研修会くまもと大会に参加して

湯布院厚生年金病院 日和 慶二

11月19・20日の日程でくまもと大会に参加してきました。「つなぐ、つなげる『しん・かん・せん』～熊本発、寄り添う心をのせて～」というテーマのもと、福島県医療ソーシャルワーカー協会会長の大川原順子氏と日本医療社会福祉協会会長の佐原まち子氏の講演、ワークショップ、研究発表が行われました。今回、私は「生活再開に向けたクライアントとの共同～一人暮らし高齢者へのエコマップ活用の試み～」というテーマで発表しました。この発表は、自宅復帰した際に一人きりになることへの不安を示すクライアントに対し、エコマップを共同作成する過程を通して、クライアントの力を強める関わりを行った事例についてまとめたものです。この事例を通してクライアントの気持ちに十分に気づけていなかったという私自身の反省からアセスメントの大切さを改めて認識しました。そのため、佐原氏が講演のなかでアセスメントとアセスメントを言葉にすることの重要性を指摘されていたことは大変印象的でした。また、私が参加した熊本学園大学の黒木邦弘先生のワークショップでは、MSWらしいアセスメントとはどういうものかということを考える機会を頂きました。MSWとして何を見て、何を考え、どのように行動していくかはアセスメントに裏付けされるように思います。本大会での学びをこれからの実践に活かし、MSWとしてより良い援助を行っていけるよう成長していきたいと思えます。

<他の発表者>

佐藤博文 氏 (別府リハビリテーションセンター)

演題：「高次脳機能障がいがある方への復職・復学支援」  
～回復期リハビリ病棟のMSWが果たす役割～

岡江晃児 氏 (大分医療センター)

演題：「退院前カンファレンスのシステム構築」  
～大分市東部地区の取り組み～



# 研修会等参加報告



## 大分県保健医療団体協議会げんきフェア

ネットワーク推進部理事 吉賀 治美

毎年恒例の大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」が12/11(日)、豊の国健康ランドにて開催されました。医療現場で働くコメディカル10団体による啓発活動として、これまでもさまざまな場所で開催されてきましたが、今回の会場はその名もずばり「健康ランド」！ここに集まる老若男女はさぞや健康に関心が高いだろうと、直球勝負の会場設定でありました。その期待に違わず、利用者の方々が興味を持って覗いていかれました。同じ日の階下ではカラオケ大会も開かれており、久しぶりの好天に恵まれた日曜日だったというのに、意外と来場者は多かったように思います。

当協会の催し内容は昨年と大きく変わりありませんでしたが、縁日をイメージして相談項目を「お品書き」のように掲示してアピールしてみました。他団体が体験コーナーなどのイベントを開催しているのに対して、当協会はそういったイベントがないにもかかわらず、「医療ソーシャルワーカーの仕事」に興味を持って質問されてきた方もおり、特に熟年層は自身の健康問題と老親の健康問題などを多かれ少なかれ抱えているのではないかと感じました。ところで、自主制作ムービーは出演している協会の快演(怪演?)が秀逸で、さらに昨年の上映時の反省を踏まえ、スタイリッシュなモニターを準備して(甲斐副会長ありがとうございます)上映したため他団体からも非常に注目を集めました。来場者にも興味を持っていただくことができました。芸達者な方の多い当協会、新たな事業展開も期待できそうですね・・・?!





## 『ふくしまっ子応援プロジェクト』について



平成 23 年 12 月 25 日（日）～28 日（水）

先日、書類送付やホームページ、メーリングリストにてお知らせしましたように、当協会は「ふくしまっ子応援プロジェクト」に運営委員として参画いたしました。当協会から実行委員として井元理事が出席し、当日は実働ボランティアとして7名が参加しました。12月13日の実行委員会にて、野上会長・井元理事よりプロジェクトの事務局へ30万円の寄付を行いました。また、期間中につきましては、臼杵市野津町で行われた入村式及び歓迎パーティー（25日）には、野上会長と井元理事が参加し、ボランティアは餅つき大会（26日）と城島遊園地の引率（27日）のお手伝いをさせていただきました。

全国的に寒さが一段と増す中、子どもたちは12時間の長旅の疲れも見せずに来県しました。26日は地元の方々や小学生も一緒になって一生懸命に餅つきをして、早速自分たちでついた餅をほおぼっていました。27日の遊園地は子どもたちにとって待ちに待ったイベントではなかったかと思えます。各アトラクションやスケートなどみんな楽しそうでした。活発で笑顔の子どもたちに私たちが元気をもらったように感じました。



最後になりましたが、当協会会長の働きかけもあり、期間中は大分県小児科医会による子どもたちの医療的な協力体制がとれておりましたことをご報告いたします。



### ●スーパーバイザー研修中間報告●

研修部理事 松尾 美穂

第5期目となる「スーパーバイザー養成講座」が昨年12月3日より開講されました。今期は新規受講者5名、補講・聴講・フォローアップ研修者が3名という少人数でのスタートとなりましたが、少人数ならではのアットホームな雰囲気、講師との距離も近く学びやすい講座となっています。

初日は実習のプロセスについて別府大学の林真帆氏、大分県MSW協会実習プログラミングシート作成班による講義が行われ、特に指導者が不安に感じる、実習プログラム作成までの手順や、プログラム作成のポイント、指導にあたる姿勢等について具体的に学ぶ事が出来ました。二日目からはテキストに基づき講座が行われます。12月8日は、別府大学の林真帆氏、新別府病院の井元哲也氏より、5年目以上のMSWが必ず持つべき「価値」について、及び組織の考え方を知り我々がMSWとして病院にいる意味について学ぶ事が出来たとともに、受講者も日々の実践のふり返りが出来たように思います。

寒い中、朝早くから夕方まで、時には難しい演習に悩みながら、時には睡魔と闘いながら受講者の皆さんは頑張っておられます。インフルエンザなどにも負けず認定証を2月に受け取る事が出来るよう、協会員の皆さんからもエールをお願いします。

## ●SV養成講座「実践報告会」についてのご案内(再)●

SV養成講座も5期目となり12月3日より開催されておりますが、今期より研修部では、第4期までの修了者の方々に「実践報告会」を企画しております。受講後の実習指導された方・新人MSWの指導をされている方の実践についての報告・意見交換の場と考えております。講座は修了したけれど、実際の指導に不安を抱いている・他の修了生の実践を聞いてみたい・また、ご自分の実践について報告したい・プログラミングシートの活用方法や意見・苦労したこと工夫したこと、など、大歓迎です。実践での声を是非お聞かせ下さい！！

日時：平成24年2月4日(土) 9時30分受付 10時～12時30分 受講費 500円

会場：大分県立社会教育総合センター 第1セミナー室

〒874-0903 大分県別府市大字別府字野口原 3030-1 TEL 0977-22-7763

申込期間：平成24年1月18日まで

申込先及びお問い合わせ：湯布院厚生年金病院 地域連携室 松尾美穂

TEL 0977-84-3171 (代) FAX 0977-84-5890 (専用)

### 理事会便り

#### ○理事会報告事項

2011.11.24 第5回 理事会：別府リハビリテーションセンター

12.3 大分県医療ソーシャルワーカー協会SV養成講座(別府市労働福祉センター)

12.18 大分県医療ソーシャルワーカー協会SV養成講座(大分県立社会教育総合センター)

12.21 第6回 理事会：別府リハビリテーションセンター

#### <主な議題>

- ・事務局報告 [11月新規入会・脱会者なし 12月新規入会・脱会者なし]
- ・会費未納者への納入催促
- ・平成23年度実習生受け入れ状況調査の実施
- ・シラバスの内容確認
- ・ふくしまっ子応援プロジェクト参加案内
- ・大分県社会福祉協議会から「権利擁護・人権セミナー(仮称)」開催にあたっての当協会への協力依頼(分科会担当)
- ・各分会の活動報告 研修部、学術部、広報部、ネットワーク推進部、同時改定ワーキングチーム、その他

#### ○理事役員動向

11.2 訪問看護認定看護師教育課程(講師)：野上会長(研究交流センター)

11.15 大分県保健医療団体協議会打合せ：甲斐副会長・吉賀理事

11.19 九州医療ソーシャルワーカー協議会：甲斐副会長(くまもと森都心プラザ)

11.19 九州医療ソーシャルワーカー協会研修部会：井元理事(くまもと森都心プラザ)

11.20 大分県病院学会(来賓)：野上会長(別府ビーコンプラザ)

11.27 言語聴覚士協会10周年・法人化記念祝賀会：野上会長(トキハ会館)

12.8 第4回福祉社会科学講座パネラー打ち合わせ：野上会長(大分大学)

12.11 大分県保健医療団体協議会 げんきフェア：野上会長、佐藤副会長、甲斐副会長、吉賀理事、井元理事、小川会員、藤井会員(豊の国健康ランド)

12.25 ふくしまっ子入村式：野上会長、井元理事(野津町公民館)

12.26 ふくしまっ子ボランティア：川野事務局長・中村理事・河村会員・藤井会員(野津町吉四六ランド)

12.27 ふくしまっ子ボランティア：川辺会員・妻川会員・梶原会員(城島遊園地)

※大分県主催の地域肝炎治療コーディネーターの研修には多くの会員が参加しました

#### <事務局>

大分県白杵市大字戸室長谷 1131 番地 1

(白杵市医師会立コスモス病院

地域医療福祉連携室内)

TEL 0972-62-5883

FAX 0972-62-8404

URL:<http://oita-msw.com/index.html>

Mail:[oita-msw@oita-msw.com](mailto:oita-msw@oita-msw.com)



#### <SWのうまいもん・みたもんのコーナー> 第3回 竹田市より

竹田市は山に囲まれた自然豊かな土地です。温泉・湧き水・高原や岡城などの観光名所もあります。大自然の中でゆっくり過ごしお腹を満たした後に、日ごろの疲れを温泉で取るなんていかがですか？

イチ押しグルメ：「丸福」からあげ、「但馬屋」荒城の月、「ニンナ・ナンナ」おまかせコース、「ガンジー牧場」パンとソフトクリーム、「天風庵」やまめのからあげ、「竹田道の駅」お野菜、「パルクラブ」お野菜・お肉

イチ押しスポット：くじゅう花公園、ガンジー牧場、大分県畜産試験場(ハイキングコース)、沢水キャンプ場、長湯温泉

(大久保病院 岡田MSW)